

公益社団法人 日本雪氷学会北海道支部 2021年度第4回理事会（議事録）

1. 日 時

2021年12月7日（火）13時30分～15時30分

2. 場 所

札幌市立大学 会議室（札幌市中央区南1条西6丁目20-1 ジョブキタビル9階）、及び
オンライン（zoom）

3. 出席者

出席者：松澤、的場*、高橋、松下、東*、千葉*、澤田、今西*、大島*、舘山*、
山野井*（以上11名）

委任状：石川、廣川、日下、飯沼（以上4名）

※進行役：高橋、記録：東（以上、敬称略。*オンライン参加）

4. 議 事

（1） 第3回理事会の議事録の確認（報告）

- ・ 東理事より、第3回理事会の議事録の説明があった。

（2） 2021サイエンスパークへの参加について（報告）

- ・ 日下理事、飯沼理事が欠席のため、松下理事より、今年度の会場体験プログラムの中止とオンラインプログラムの実施状況の報告が行われた。
- ・ 延長されたオンラインプログラムの動画公開時期について、現時点では終了時期が未定のため、公開時期がいつまでなのか確認することになった。

（3） 講演会「雪崩から身を守るために」について（報告・審議）

- ・ 山野井理事より、講演会「雪崩から身を守るために」の開催報告が行われた。
- ・ 感染症の状況に応じた開催方法を会場側（北海道大学）に逐次確認したうえで対面開催とし、来場者にはホームページに記載した対応（入口での検温、消毒、換気など）の協力をお願いし、特に問題無く開催できた。
- ・ また、雪氷災害調査チームの活動予定と寄付金の状況について説明が行われた。
- ・ 雪氷災害調査チームの緊急出動にあたり委嘱状（3名分）が必要であり、庶務が対応することとなった。

(4) 「北海道の雪氷」関連

・北海道雪氷賞の選考結果および選考理由について（審議）

- ・ 大島理事より北海道雪氷賞の選考結果および選考理由について説明があった。
- ・ 「北の風花賞」と「北の六華賞」について、選考委員会における選考結果が報告され、異議なく承認された。
- ・ 「北の蛍雪賞」について、選考委員会から2名の推薦があったが、審議の結果、受賞者を1名とすることが決定された。

・北海道雪氷賞の今後の選定方法について（審議）

- ・ 大島理事より、北海道雪氷賞の今後の選考方法について、選考委員会からの提案事項の説明が行われた。
- ・ 審議の結果、基本方針として、従来どおりの論文を対象（軸）にした選考とし、提案事項に対しては表彰規定を変更せずに運用で対応することとなった。今後、事業担当理事が運用対応案を検討する。

(5) 北海道支部 HP について（報告・審議）

- ・ 澤田理事より、2021年5月以降のHP更新内容、審議事項について説明が行われ、審議の結果、HPマニュアルの改定版を澤田理事が作成することとなった。
- ・ 雪情報に関する情報を発信するページの新設について、積極的な情報発信は必要だが内容を確認するルールが必要との意見があり、澤田理事がルール案を検討することとなった。
- ・ twitter、facebook、Youtube のバナーリンクについては、澤田理事がバナーリンクを貼ることを確認した。
- ・ 舘山理事より、HP で使用している Plone3.3.5 はセキュリティが脆弱であり、Google で簡単に HP を作成できるので刷新してはどうか？との意見があった。澤田理事が検討することとなった。

(6) 雪氷研究大会（2022・札幌）について（報告）

- ・ 松澤支部長より、雪氷研究大会（2022・札幌）について概要説明があった。
- ・ 北海道支部としても協力対応を行うことを申し合わせた。

(7) その他

・次年度の理事、役員、評議員について

- ・ 松下理事より、次年度に理事を退任される方に、後任の人選のお願いが行われた。人員の少ない担当について（地域講演会担当など）は増やすことや兼務も視野に入れて検討することを確認した。評議員、顧問については、庶務が中心となりスリム化を図っていくことになった。次年度の役員体制は、次回の理事会で審議する。

・その他

- ・ 舘山理事より、地域講演会の代替案としてのオンラインコンテンツの作成・公開について現状進捗できていないため、今後順次進捗を行う報告があった。またコンテンツ作成の際、日本雪氷学会のロゴデザインについて協力依頼があった。
- ・ 今西理事より「北海道の雪氷」について発行完了の報告があった。

次回の理事会は2022年3月中旬～4月上旬を予定し、庶務担当理事から日程調整等の連絡を行う。

以 上